



営農情報 INFORMATION



★今月号は私が担当しました。

営農振興課
営農経済渉外係長
田中 裕子

冬も農作業事故に注意！

稲刈りなど、農作業が忙しくなる時期（9月～11月）に埼玉県では毎年「秋の農作業事故ゼロ運動」を実施しています。運動期間内だけでなく、常に農作業事故には注意が必要です。

JAふかや管内では、これから冬にかけて、ネギの土寄せ作業やネギ・ブロッコリー等の収穫などの農作業が忙しい季節となります。秋だけでなく、冬の農作業事故にも注意しましょう。

ネギ栽培で 特に事故が起きやすい作業

・管理機による土寄せ作業

ネギの土寄せ時に管理機を使用する際は、固い土でのダッシング（固い土により機械が飛び出す）やキックバック（固い土にぶつかり突然後退する）に注

意が必要です。

土が固い場合は、無理に土寄せを行わない、固い土で管理機を使用する際は、走行速度・回転ともに低速が基本となります。

・出荷調整時の作業

ネギの根葉切り機では、作業中に手が巻き込まれる事故が発生しています。

機械の調整作業やネギの葉など、詰まりを除去する時は、必ず電源を切ってから行いましょう。

なお、根葉切り機だけでなく、全ての農業機械において異常を感じた場合は、必ず電源やエンジン停止してから作業を行いましう。

農業作業全般

・夕方の交通事故防止

日没が早まる冬の時期は、薄暗い中でのトラクターの運転も大きな事故につながる恐れがあります。路上走行中、後続の乗用車に追突される事故が多く発生しています。

夕方の作業は無理をせず、ヘッドライトや反射材の活用、時間に余裕を持った行動を心がけましょう。

また、灯火類（ランプ）や反射材などは、土で汚れていないか定期的に点検しましょう。

・軽トラックからの積み下ろし

軽トラックからの農機具や収穫物の積み下ろし時にも事故が発生しています。

荷台からの転落、機械の落下による怪我を防ぐため、足場の安定と周囲の確認を十分に行いましょう。機械の積み下ろしを行うブリッジの長さは、荷台の高さに対して4倍以上の長さのものを使用することが推奨されています。短いものは傾きが急になり、転倒の危険があります。

農業機械以外にも危険が

ほ場内で大きな固い土の塊につきまづ転倒、作業場内で軽トラッ

クから収穫物を降ろし運んでいる際に、通路に物が置いてあり気が付かず転倒など、機械の使用中外にも農作業事故の危険は潜んでいます。冬は寒い中での作業のため、身体の動きも鈍くなります。作業場内の整理整頓も事故を防ぐひとつです。

今回紹介した内容は、農作業事故のほんの一例です。慣れた作業であっても、慎重に行うことが農作業事故防止の第一歩です。

安全対策を怠らずに、この冬も農作業を行いましう。

参考
農水省HP
埼玉県HP
令和7年度「秋の農作業事故ゼロ運動」実施中



あなたの常識は大丈夫？ 乗用トラクタ乗車時のチェック！

- ☒ シートベルトを着用していますか
- ☒ ヘルメットを着用していますか
- ☒ 安全キャブ・フレームは付いていますか
- ☒ 危険箇所を把握・共有していますか
- ☒ カーブ時は徐行していますか
- ☒ 三角形の低速車マークは付いていますか
- ☒ 作業機を付けて公道を走行する場合、必要な灯火器類（ランプ）や反射器は付いていますか



就業人口10万人当たり死亡者数の推移（H25～R4）



農業者の死亡事故は、他産業と比べて非常に高い割合で発生しています。家族経営が多い農業では、他産業と比べて、労働衛生法等に基づく安全対策が普及していないことも一因となっています。

